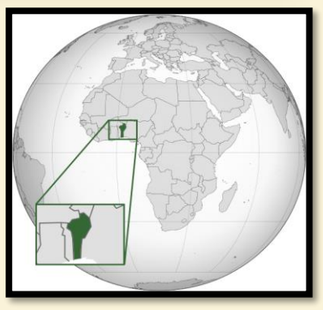
大河原　花子　　ベナン

（青少年活動・2019年度2次隊・東京都台東区）

［ベナン共和国］



ベナン共和国の概要

1. 面　　積：112,622平方キロメートル(日本の約3分の1)
2. 人　　口：1,149万人(2018年:世銀)
3. 首　　都：ポルトノボ(Porto-Novo)
4. 民　　族：フォン族,ヨルバ族(南部),アジャ族(モノ,クフォ川流域)、バリタ族,プール族(北部),ソンバ族(アタコラ山地,トーゴ間)等46部族
5. 言　　語：フランス語(公用語)
6. 宗　　教：イスラム教(27.7%),カトリック(25.5%),
   プロテスタント(13.5%),ブードゥー教(11.6%),
   その他キリスト教(9.5%),その他伝統的宗教(2.6%)
7. 通　　貨：C F Aフラン
8. 主要産業：農業(綿花,パームオイル),サービス業(港湾業)
9. GDP　　:142.5億米ドル（2018年:世銀）

［お気に入りのグルメ（食）］

「アパン」

　とうもろこしから作られるドロっとした食感のおやつです。
　たっぷりの練乳を入れて食べます。大きなバケツに入れられ、おばちゃんが頭の上に乗せて売り歩きます。

「ソダビ」

　椰子の木から作られる蒸留酒です。
　どの家庭にもあり、日常的に飲まれているお酒で、アルコール度数は高めです。仕事が休みの日やお祝い事があった日に近所に人たちが飲ませてくれました。

［私の任地］

1. 任地の名前：アトランティック県ウィダ市
2. 任地の人口：10万人弱（2019年）
3. 首都からのｱｸｾｽ：乗合タクシーで1時間
4. 庶民の足：バイク、乗合タクシー、バイクタクシー
5. 物　　価：庶民的な食事処で20～60円

［活動内容］

　ウィダ福祉センターは社会問題・マイクロファイナンス省に属し、子どもや女性、お金に困った人や障害者に対する支援を行なう、日本の市役所の福祉課のようなところです。センターは人手不足・資金不足を抱えていて、地域住民の現状把握や支援が行き届いていないことが課題となっていました。センターの活性化とともに、啓発活動、生活向上支援、孤児院の支援が期待されていました。職員へのパソコンの指導、センター入り口の看板の修理、障害児のリハビリテーション施設や孤児院での資金・物資調達活動、孤児院のマラリア対策活動、栄養改善活動等を検討しておりました。

【孤児院で子ども達とおやつを作る風景】

　子ども達と「ドコ（甘くない揚げパン）」を作りました。
ここの孤児院ではマラリアに罹患する子どもが多く、治療費や薬代が運営を圧迫していました。

【近所の子どもや大人が我が家に様子を見にきます】

　一緒にご飯を食べたり、お酒を飲んだり、教会へ行ったり、市場へ行ったり、自宅でダンスをしたり、地域の人に支えられて生活しておりました。